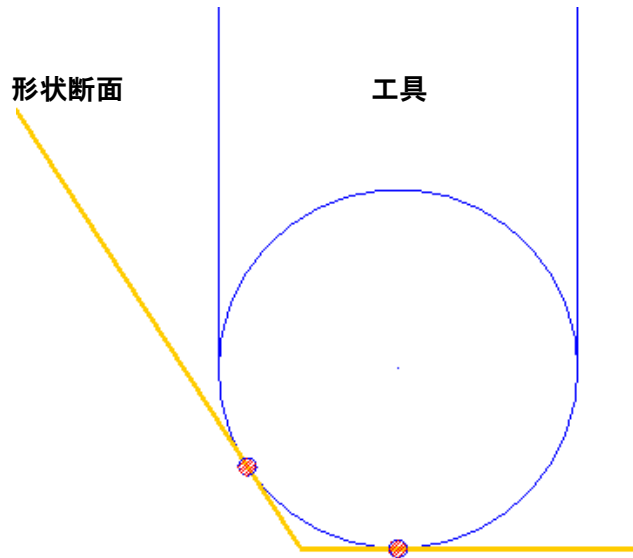


【6-18 / ペンシルツールパス余肉設定の考え方】

余肉: ペンシルパス計算では、ツールパスは通常一本しか作成されません。

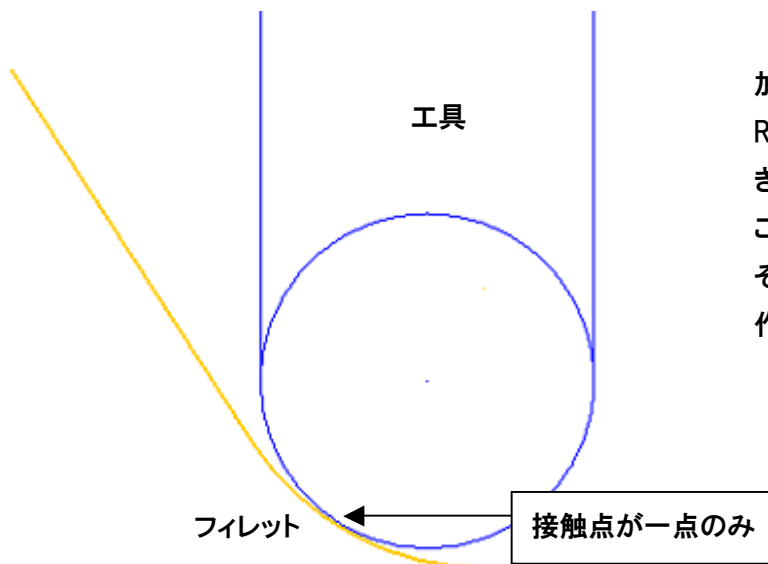
この一本が通る経路を作成する為に、工具の接触点が2点必要になります。



図の○が接触点です。

形状の凹稜線に対して工具が大きいので、接触点が2点求まります。

ペンシルパスが作成されない部分



加工する曲面上で、使用する工具よりも大きなR部分には、接触点を2点に限定することができず、ツールパス中心が求まりません。

このような理由で、選択した工具の同一Rか、それ以上の部分でなければ、ペンシルパスは作成できません。

余肉設定は、このようなケースに対応する為に、用意された機能です。

接触点を求める為に、仮に工具を大きく計算します。

元々の工具から大きくなる基準が余肉に入力された値です。